

超音波洗浄器使用上の注意点

超音波洗浄器は、水や洗剤を超音波で振動させ、油や微細な汚れを洗浄物から浮き上がらせる機器です。洗浄液や周波数の選定などによって、幅広い範囲の汚れに対応することが可能です。

使用方法

- ①空発振を防ぐため、**蓋を外し、水槽内を確認する。**
- ②水槽内にお湯（50℃未満）または水を入れる。
- ③洗浄物に合った洗剤を汚れに応じて入れる。
- ④洗浄物を水槽内に沈め、電源を入れる。
▶フラスコやビーカーなどは**横向きに入れる。**
- ⑤洗浄終了後、洗浄物を引き上げ、水でよくすすぐ。



注意点

【故障原因トップ3】

- ①**洗浄液がない状態での使用（空発振）**
 - ▶フラスコやビーカーなどは底面の盛り上がりがある空洞となり、空発振状態になってしまうため注意する。
 - ▶洗浄物の中の空気は抜く。
- ②**洗浄液量の規定水位外での発振**
 - ▶水位が外れていると発振や基板の不良に繋がる。
- ③**操作部への水かかり**
 - ▶都度拭き取り、漏電を防ぐ。

【その他の注意点】

- 洗剤は中性または弱アルカリ性を使用する。溶剤（アセトン、トリクレン等）の使用禁止。
- 火傷や洗浄器の故障防止のため、水又はぬるま湯を使用する。（50℃以上のお湯を使用しない。）
- 洗浄器本体を水洗いしない。
- 必ずアース接地をする。



理科教育を支援する

公益社団法人 **日本理科教育振興協会**

TEL. 03-3294-0715 ホームページ <http://www.japse.or.jp>